

平成18年度  
第2回 徳山地区地域審議会  
会議録

日 時：平成18年7月21日（金）

場 所：周南市役所 3階 第6会議室

## 【会 議 次 第】

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 今後の運営について

(2) その他

4 閉会

## 平成18年度 第2回徳山地区地域審議会 会議録

日時 平成18年7月21日(金) 午後3時~午後5時15分

場所 周南市役所 3階 第6会議室

出席者 ・委員 14名

小田 敏雄(会長)、中村 俊孝(副会長)、清永 一彦、大森 クニ子、  
廣澤 和己、山本 裕之、山田 好美、木船 淳雄、福原 和子、佐々木 伸子、  
河野 裕美、大寺 和美、清木 寛、萩原 幸夫

・事務局 4名

住田企画課長、原田係長、菅田、青木

### 会議経過

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

#### 3 議事

(3) 今後の運営について

会長

- ・本日はお忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。今回は皆様方から色々のご意見をいただき、討議をした訳であるが、中々、一つの方向に定まらないという問題があり、徳山地区の地域審議会としては、今後どういう形で問題提議を検討していくかという点でまとめていかなければならないと思っている。
- ・地域審議会もそれぞれの地区に設置されているが、他の地区とこの徳山地区の地域審議会は、若干、趣きが違うような気がする。合併したがこれからどうなるのかという地域住民の不安から、地域審議会の中で討議されているという事も聞いているし、徳山地区の場合は、元々徳山市という形の中で、今日まで行政と一緒にやってきて、それぞれの団体がそれぞれの地域の中で、或いはコミュニティ組織を通じて、色々意見を出してきた訳である。そういう中で、中心部、西地区、東地区、或いは私が住む北部地区といったように非常に地域が広いという問題があるが、そういう問題も含めて、これから、幾つかの問題をまとめてみたいと思う。
- ・今、徳山で一番大きな問題は駅前整備の問題がある。これにはほとんどの皆さんに関係する問題であり、これについて行政としては、別に論議を重ねる場を設けているが、これについて徳山地区地域審議会として意見を出す点については差し支えないと思う。また、周辺部においても、徳山市の時代からの事業について、実際には未だ実行されていないという問題もあるだろうし、それらも含めて、色々皆さんからご自由にご意見を出していただき、最終的に地域審議会として、本年度はこういう事について検討していこうという事項を決定したいと思っているので、よろしくお願いたしたい。

- ・事務局から何かありますか。

事務局

- ・他地区の地域審議会の開催状況、及び審議・検討事項について報告・説明。

## 会 長

- ・ただ今、事務局からの説明のとおり、他の3地区の地域審議会においても、問題提議をして勉強会を開催し審議している。皆さんの方からご意見を出していただきたいと思う。

## 委 員

- ・私は戸田に住んでいるので、戸田に関係する事しかわからないと理解していただいて結構ですが、合併前に市道赤迫線整備事業というのがあり、合併前に1億5千万円の予算が付いており、合併後1年目にも1億5千万円付いていたが、1年目の工事の時に、土手が滑ってこのままだと工事が進まないで、まずは土手が滑るのを止めようという工事をされたらしい。ところが昨年度は予算が0になった。今年は調査費が5百万円付いたという話を聞いた。一番問題なのは、周辺地区が合併した途端に予算を完全にカットされる。このような事は、我々周辺地区に住む者にとっては、絶対に許されない事である。しかも新市建設計画に載っている訳である。こういうものについては、地域審議会として、やはり強力に当局の方へ予算復活、或いは事業推進という事をお願いしていただきたいという気持ちで一杯である。
- ・一番最初、この道路というのは、夜市地区の子供を戸田にある桜田中学校へ通学させるのに、国道2号線や山道を通らせるのは危険だという事から、小川市長の時に、道路を整備するので夜市の人も子供を戸田に行かせる事、或いは戸田・湯野の人は夜市の子供の受け入れを了解してくれという事から始まったものである。その後、戸田駅前の辺りを住宅地域にしようという都市計画が持ち上がり、市が強力にバックアップして300m程完成した。ところが宅地開発すると雨水排水の問題で、夜市川がもたず大変な事になるという事で、今現在は県の仕事として、夜市川の支流、福川地区の整備が進んでいる。それが済めば戸田駅前の宅地開発だと我々は聞いていたが、実は宅地の需要はそれ程無い為、開発計画は頓挫してしまった。途端に、予算の問題が持ち上がり、単市でやらなければならなくなった。何度か頓挫したが、地域住民が努力してようやく1億5千万円まで復活した。それが合併した途端に0にされるというのは大変な問題だと思う。最低でも1億5千万円の予算は確保していただきたい。予算を削る事については市長から我々に予算を削っても良いかどうか諮問があってしかるべきではないか。少なくとも、市長からそういう諮問が出る前に、予算編成の時期に事業計画を立てる段階で、我々にキチンと諮問していただくべきではないのかという気がする。同時に、皆さんのご協力により、市道赤迫線の予算復活を是非お願いしていただきたいと思う。

## 委 員

- ・私も戸田出身であり、今言われた問題については何らかの関係で取り組んできた訳であり、事情は言われた通りである。前回も私は言ったが、この地域審議会というのは一体なんだろうという事をもう一回整理する必要があるのではないかと思う。今の赤迫線問題については、私も気持ちは変わらない。ただ、新市建設計画に載っている計画は、粛々と進めなさい、逆に言えば、進めますという約束をして合併をした形になっている。従って、合併する前の各市町においては、自分達の地区の計画は、はずさないようにしなければならない。それは出身の職員しかり、議員しかりである。しかし、それでは総花ではないか。つまり、今までの既存の計画を全て挙げて、なあなあではないか。これはおかしいと思う。勿論、これを全て審議するとなると大変な問題で、我々がわかるはずも無い。合併協の委員であった当時、私はこう発言した記憶があるが、かと言ってどれを削るかという点を検討するには当時の合併協の時間、日程では到底無理であった。そうすると、全て入れておくので、キチンと計画が実施されているのか監督する組織を各地域に作りましょうというのが地域審議会の本来の姿、基本となる訳である。従って、各地区の地域審議会は、自分たちの地域の新市建設計画に載っている計画が粛々と進められるか、或いは変

更されるのか、中止になるのかを審議する。問題によっては、市長や行政から諮問があるので、審議してください。そして、皆さんの不利益にならないような場所を与えますので、そこで審議してくださいというのが、大まかに言った地域審議会の役目であろうと思う。

- ・それは決して悪い事ではないし、ある意味、その地域の市民が参画して合併後の地域の計画の進捗状況や変更、中止に目を光らせておくという事、その中で意見を出していくという事は当然あって良い事である。ただ、鹿野、熊毛のコアプラザというのは、その地域の住民にとっての夢であり、言葉を変えれば、合併時のお土産であったと私は認識している。その事は市道赤迫線についても同様であり、旧徳山市の周辺部である戸田地区の夢であったと思う。ただ、新市建設計画の中で、こういうような例が全く無いのかと言うと、私はかなりあるのではないかと思います。では、この場でそれらを網羅して、一つひとつ審議していくのかどうかという問題になってくる。
- ・事務局に聞きたいのだが、市道赤迫線のような例、中止とまではいかないが予算を含めた諸般の理由で中断している計画、先送りになっている計画等、そういう例があれば、そういう問題を含めて審議していかないといけないのか、それとも地域審議会はそういう問題を審議する所ではないという事であれば、話は別ですが。

会 長

- ・地域審議会のあり方については、前回も意見が出たように、地域審議会として、どこまで権限があるのかという問題になる。議会というものが存在する以上、我々の意見が即、実行されるというものでもない。そういう点も含めて、何か他の委員さんからご意見はありませんか。事務局からは、何かありますか。

事務局

- ・新市建設計画に載っている事業の内、具体的にどの事業が継続されて予算的に整理されているかいないかという点、整理はされていない。市道赤迫線の現状についてはその通りだと思っているし、例えば戸田駅の活性化施設については予定通り進んでいる状況にある。このように進んでいる計画もあれば、恐らく進んでいない計画も多分あるかと思う。あれだけの事業の中身を、我々が全て把握するという事は無理な所がある。
- ・それら一つひとつの案件に対して、この場で審議していくかどうか、又、それが良いのかどうかについては、この地域審議会で決定していただく事になるかと思う。事務局が良い、悪いというのは言いにくい部分がある。

委 員

- ・赤迫線のような具体的な案件が実際にある訳で、そういう問題を逐一この会議で審議していかなければならないのか、その点が少し疑問である。
- ・駅前整備計画については、事前にこの審議会に何の話も無かった事が、私は非常に不思議である。だから、私はこの審議会は一切何をすれば良いのかという事を言いたい。議会の中でも、ああしたらどうかこうしたらどうか、金を使い過ぎだとか何だとか、色々議論があると聞いている。この問題を、先に審議会の中で議論させてくれたら良かったのという気持ちはある。せめて審議会の意見位は聞いて欲しかった。駅前問題については、事務局はいかがお考えか。そういう機会が無かったのか。一方のコアプラザの問題は一生懸命やっているようだが。

事務局

- ・地域審議会は4つある。事業的に周南市全体としての事業なのか、或いはその地区のみに該当する事業なのかが大きな分かれ目だと思う。もしそれを徳山地区の地域審議会だけにかけるのであればそれはマズイ。やるのであれば全審議会にかけなければならない。要するに事業の性格として、地域審議会の方に提案をして審議していただく案件と、全市的な案件とは少し、区分けしなければならないと思っている。

ただ、駅前の問題にしても、パブリックコメントを実施したり、議会の方も特別委員会が市民の方に出向いて会議を持ったりして、色々な形で市民の方々の意見を聞いたりしているのも事実である。徳山駅周辺整備事業をそれぞれの地域審議会にかけなかった事が良いのか悪いのかについては、個人的には言いにくい部分があるが、事業の性格としてどちらがよかったかを検討した結果がこうなったものと思っている。要するに各地区の課題について各地区の地域審議会が地区をどうするかという事の中で、活躍していく組織の方が意味がある。大きなまちづくりの中の、市の重要施策全体について議論していくのではなく、元々居られる地区の中で、これからどういう形でまちづくりを進めていくかという課題について、各地区が議論するというスタンスでいる。そういった形の中で、徳山地区地域審議会がどうあるべきかという議論をしていただけたらと思っている。ただ、これが正解かどうかははっきり言ってわからない。

#### 委員

- ・私は第1回目から終始、地域審議会の設置に関する協議書のその他必要と認める事項という項目にこだわってきた。それには「合併によって市域が広がり、住民の意見が行政に届きにくくなるという懸念を払拭するために、旧市町村の区域に関する事項について、市長の諮問に応じて審議し、又は必要と認める事項について、市長に意見を述べる附属機関を置くことができるとして創設された制度」と明記してある。噛み砕いて言えば、周辺地区が冷や飯を食わないようにしなさい、食わさないようにします。だから合併推進に賛成してくださいという事が大前提になっている。そうすると、新市建設計画に堂々と掲げて合併を推進してきながら、金が無いから止めたというのは、明らかにおかしな話であり、住民を騙した事になる。だったら、その事業を止める合理的な理由を住民に事前に説明して、了解を得た上で止めるべきである。1億5千万円も付けてあった予算を0にするならば、なぜ地域審議会にかけなかったのかと言いたい。先日、戸田地区であった活性化連絡協議会において、土木及び企画の部長さん以下大勢の方々に、もう一度勉強するように言ったのは、そこにある訳である。
- ・合併前に市長以下、市の偉い方が説明会に来られ、戸田を含む西部3地区に関する問題については3点挙げられた。

国道2号線の拡幅の推進

戸田駅前開発

市道赤迫線

これだけやります、新市建設計画に載せます、だから合併に賛成してくださいという説明があった。それを金が無いから止めるというのであれば、あの説明会は何だったのかという事になる。説明責任も果たさずに金が無いから止めるのでは、政治不信もいいところではないか。幾ら綺麗事を言っても結果的に住民を騙すような事は絶対してはならない。コンプライアンスと盛んに言い、法律を守れという話が出るけれども、当局の方から法律を破るような事をしておいて、我々はどうしたらよいのかという話になる。

#### 会長

- ・ここで答えは出ないと思われるので、もうそれ位にしてください。私は、少し考え方が違うのだが、合併前に約束した事がそのまま守られない場合はあると思う。色々な問題がある上での合併という事を承知の上で、新しい市を作っていくという過程の中で、様々な凸凹があるのは当然であり、議会もその事は認めている。我々の審議会が議会以上の権限があるのかという問題もある。委員さんからこういう意見が出たという形で挙げていこうと思う。
- ・今まで時間を取りましたが、他の委員さんのご意見を伺いたいと思う。

#### 委員

- ・今、ご意見を伺って思ったのだが、よその地区はコアプラザのように、やる事が具体的に明確になっており審議が進んでいるけれども、徳山は何を審議するのかとい

う所から考えなければならないという事はもっともだと思う。この地域審議会は、先程言われたように周辺地域の意見を形にして行政に伝えるのも一つの役割である。ただ、周辺地区だけではなくて、駅前の問題や都市圏競争だとかの問題もある。ただ、今やらなければならないのは、合併後3年経った今の徳山地域の問題点をこの地域審議会として整理して市に伝えるという作業が一つ必要なのではないかと思う。

- ・今の市道の事。そして皆さんが感じておられる合併後発生した地域の問題。これを幾つか挙げて整理して、これについて市は積極的に研究してくださいという提言がまとめれば、これは地域審議会としての仕事、意味があるものになる。勿論、全てがその通りにやるという訳にはいかないと思うが、今、こんな所に新しい問題が発生しているというものを、行政に対して言葉にして、勿論、こうした方が良いという改善策まで出れば良いのかも知れないけれども、まずは、今、どんな問題をこの徳山地区は抱えているのかという事を、色んな方面から委員の皆さんは集まっておられるので、その委員さんの担当の所から入って行ってそれを整理して検討・提案するという事がまずは第1ステップではないか。もしその中で市が、この次にはこういう事を計画していますので審議会で検討してくださいという段階になれば次のステップになるのではないかと思う。
- ・合併後、特にこの徳山地域がどういう状況になっているのか私もわからないし、恐らく、単発で意見は聞こえてきていると思うが、まとまった提案等はないと思うので、それをまとめるのがこの地域審議会の役割かなと思っている。

会 長

- ・ありがとうございました。本日はお一人ずつ発言していただきますので、どなたでも結構ですので、お願いします。

委 員

- ・前回の会議で、それぞれがどういう事を議題にしたらよいかという事を決定しておいて、本日それを出し合い、項目を絞っていくという事になっていた。それを発表してもらって、前へ進んだらどうか。毎回毎回同じ話ばかりできりが無い。市議会よりも上に立つ気は毛頭無いので、この審議회를市議会と婦人会の間位に位置付けて、気軽に話し合えたらと思う。

会 長

- ・地域審議会の委員は、15名がそれぞれの地域や団体から組織されているので、それぞれの団体や地域の意見をそのまま出すという考え方もあるが、やはり、ある程度項目を絞って意見を集約してまとめて行くという方法の方が望ましいと思う。

委 員

- ・公共施設の利用料金や備品の貸出料等が一律でないので、懐具合と相談の上、施設の決定をせざるを得ない状況にある。何とか均一に合わせる事はできないものか。

委 員

- ・周南市の人口が減っているとの新聞発表があったと思うが、子供が元気になれば周南市も元気になるという事で、子供を大きく育てる優しい環境づくりを目指す為、市は元気こども課を立ち上げ色々な施策をやっている。やはり、子供関係の仕事をしている立場上、大変気になる昨今の事件もあり、色々地域では「見守り隊」を作ったりと対策に当たられている。昼間は「見守り隊」がいるが、夜遅くなると「見守り隊」がいないので気になるところで、夜は見回りという事で、見回り先生の問題等、中々表に出て来ないような子育てに関する問題点については、根が深いので、これから近い将来、問題になってくるのではないかと思う。それと、核家族が多いので、子育てが中々大変だという関係もあるが、やはり、団塊の世代の方にどういった形でお力をお借りしようかというような色々な事を踏まえた上で、もっと子供が育てやすい環境になるような、そういった事について色々な地域の方、他地域の方の意見をいただきながら、徳山地域はどのような事をやっていったら良いのか検

討していけたらと考えている。

副会長

- ・大体、委員の皆さんのご意見からすると、「安心・安全」という大きな範疇の中で、関心事を持っていると思われる。その辺の事で、更に詰めて行き、一つの審議会としての意見にまとめる。赤迫線の問題も大切な事だと思う。詳しい事は私は知らないが、戸田地区や湯野地区の方から議員さんが出ておられると思うので、その方面の方にも強力に議会で質問等をしていただいて赤迫線について即決していただけるような...

委員

- ・一生懸命やっていたらいい。

副会長

- ・やっておられるでしょうけれども、それが中々そうもいかない。議会の方でそうもいかないのに、審議会で上手くいくかと言うとそうもいかないで、一応その話は、意見があるという事実だけはハッキリ明記しておかなければならない問題であろうと思う。そして、それも、「安心・安全」という問題から来る問題であろうと思うので、その中で、もう少し具体的に、今言われた子供の育て方云々でどれだけ地域の知恵が出せるような方向があるとか、或いは、情報があまり総括できていない面があるのではないかと思えてならない。そういう面のシステムをどういう風にしていくかという事で、いつまで経ってもバラバラで言いつ放しというのではなくて、「安心・安全」という大枠の中で、何か少し話をしていって詰めていく方が一番良いのかなと思う。

委員

- ・私も地域審議会のあり方がよくわからない一人であり、一番最初に読ませていただいた際には、市政に対して徳山地域が不利益を被っていないかという事であったので、議題として一番良いのは、周南市が実施している事に対して他地域と徳山地域がどう違うのか、内容がどう違うのかという所をやはり審議の議題の中心に持ってくるのが一番わかり易いのではないかという気がする。先程言われた「安心・安全」を含めて、徳山地域はこうなんだけれども、他の地域はどうなんだ、これは徳山おかしいだろというのが、地域審議会のあり方ではないかというのが私なりの考え方である。また、皆さんに教えていただきたいと思っている。

委員

- ・実は、私は箱物をまだまだ作らなければならないのだろうかといつも思っている。鹿野から徳山へ出て来ても30分、熊毛から出て来ても30分。お金が無い無いと言われていたのに、それが合併の条件だったように盛んに言われているけれども、果たしてそういう物があって、本当に安心で安全で住みよいまちかどうか、それが全部、次の世代の借金として残っていく。どうもその辺が理解できない。勿論、私が東辻というまちの中に住んでおり、周辺部に住んだ事がないから、そう思うのかも知れないが、まだ、そういう事をしなければいけないという事が少し疑問である。
- ・周南市というのは、山口県全域から考えても山陰に行こうが下関に行こうが、広島に行こうが四国に行こうが、大体1時間ちょっとで行けるすごく良い場所だと思う。ここに、沢山の退職した人達が、「山口県の中で、周南市は住みよいな、税金も安い、子育てもし易い。」という感じのまちになるような事を考えられないのかなといつも思っている。
- ・前回会議の際、どなたかが言われたが、市民憲章の5つの条文に対して、実現する方向になっているのかどうなのかという検討の仕方も一つの方法かなという気がする。

委員

- ・合併後3年経ったが、正直言って、徳山、新南陽、熊毛、鹿野全部、全然一体にな

っていない。残念である。全部よそへ行ったような顔をし、全部よその市と徳山市といった顔をしている。これをまず、直さない駄目である。では、これを直すために何をしなければならぬかを考えなければならない。私は囲碁をやっているが、戸田地区にはシルバー関係の施設が何も無く、何かをやろうとすると公民館位しかない。それが新南陽の福川まで行けば、シルバー会館だのシルバー何とかで、3つも4つもある。以前は新南陽まで遠慮しながら行っていたが、今は同じ周南市という事で、威張って行っている。つまり、福川に行くのによそへ行く気になっているのも事実であるし、よそ者が来ているという雰囲気があるのも事実である。私は、こういう事を無くする施策を一番にしなければならないと思う。前回は、津木の校区問題と行政区問題、中学校区問題を挙げた。そういうコミュニティの問題を解決するのが基本であり先なのではないか。

- ・確かに地域審議会というのは、その地域の要望や意見を聞くという事になっているが、これも方向を間違えると、地域のエゴばかりが出て来るようになり、「市長に要望書を提出しよう、提出しよう」となる恐れがある。これは決して良い形ではないと私は思う。

副会長

- ・今、会長さんはトイレに行っておられるので、その間、私が補佐させていただきますが、未だ発言の無い方がおられますが、いかがでしょうか。

委員

- ・私は婦人という立場から言いたいのですが、周南市には各地区にそれぞれ施設があり、色々な行事が行われているが、ホール内での飲食が、新しい施設程できなくなっている。食事の為の場所を別に設置しなければならない等、色々不経済であるし、又、身体障害者の方の移動という問題もある。
- ・今ある施設で、より使用者の立場に立った利用方法、勿論、駐車場の問題を含めて検討して欲しいと思う。

委員

- ・地域審議会という会の立場上、自治会長のように自分の所の問題を全面に出すべきではなくて、もっと徳山全体の事を考えなければならないと思う。しかしながら、皆さんの意見を聞いていると、やはり、身近な問題が多いように感じる。私の所と言えば、久米地区の区画整理である。中々進んでいない。新築住宅がどんどん建っているが、まず先に道路を整備して、住宅はその後にして欲しいと地域の住民は願っている。久米地区の道は道幅が狭く、特に支所の前辺りの道路は道幅が狭いので、通学する子供達は、田んぼの畦道を通って通学している。大きい広い道路ができないのであれば、田んぼの中にでも仮設の通学路を作って欲しいとの話が出ている。
- ・駅の南北通路については、港側の方が銀南街側に行くだけの通路で、まちの者が港側に行く事は無い。進めるべきは、港の開発であるという話をよく聞くし、港で言えば、道路横に魚のトロ箱が積み重ねてあり、蠅がブンブン飛んで汚いので、必要ないとの意見もある。また、下松はあれ程元気なのに、徳山の現状は寂しい限り。周囲の人も、徳山に買物に出るのは1年に1度あるかないかで、徳山で買物を...と言っても、今の状態では限界がある。早く、打つべき手を打って欲しい。

委員

- ・先程から、色々な意見が出て、出る度に納得するものばかりである。自分が携わっている所が違うので、携わっている部分から発生する問題や、大きい部分を占めるものとなるのは仕方が無い事である。
- ・今までの意見を聞いて、元気に子育てができるとか、安心・安全とかその当たりが皆さんの共通のテーマであるような気がする。今の生活も大事だけれども、今から大きくなる子供達に夢を与える、子供達が夢を持てる周南市にする為には、どのような子育てをしていくか、又、私は母子をしている関係で、0歳から3歳、4歳の

子供まで沢山関わっているが、今ニュースになっている問題とか育児放棄とか結構存在している。そういう問題でも、我々が携わっている人達について言えばその危険度は無い。我々が携われない間の部分でそういう人達が結構存在し、一人で悩んでいたりする。しかし、我々が訪問したりするのは限られているので、手を出した いけれども出せないというジレンマがある。それぞれの人達がそれぞれの立場でそういう所に関わっていて、一人の子供が大きくなるまで、何らかの形で手助けをする。そういう環境なりシステムができないかなといつも考えている。その辺りを皆さんと一緒に考えていただけたら周南市もちょっと明るくなるかなという気が先程からしている。

#### 委員

- ・徳山地区の地域審議会であるので、徳山地区の問題を話し合わなければならないのだけれども、この徳山地区で、やらなければいけない切羽詰ったような問題というのが無いのも事実で、徳山地区 = 周南地区のような感じで普段受け取られるのが多いと思う。今まで色々な方の意見を聞いて、世代が違えば考え方も違って来るのかもしれないが、徳山というまちを一軒の家で例えてみると、お祖父ちゃんもいればお父さんもいる、息子もいれば孫もいるというような色々な世代がいる。特に山間部の地域は、保育園が無くなったり等で、息子世帯は孫が出来たらまちの中に降りてくるという、恐らくこの徳山地区の事だと思う。小学生が増えたりマンションがどんどん建設されて若い子連れの方が増えたりという形で、他の地区よりは3世代、4世代が皆一緒にいるのが徳山地区だと思うので、それぞれの世代の思いが、ある程度同じ方向に向いていかないといけないのではないかなと思う。例えば、お祖父ちゃんは自分が稼いだ金なので、好きに使っていいじゃろうという事で、そこら辺に出現する訳のわからない店で布団を買ってくる。それを見て息子達は、いくら自分達の年金であっても必要の無い物は買うなと怒る。又、家が住みにくいのでリフォームしようとなると、息子世代からすれば、そのローンを支払うのは一体誰だという事を考えたり、その孫からすれば、息子世代のもの全てを背負わなければならないという事になる。
- ・今までの約束、もう少し景気の良い時の約束であれば、一件の家でみれば、贅沢は止めようという事にもなるし、子供を増やしていこうとか、安心・安全にという事で見れば、それなりに絞るところは、絞っていかないといけない。お祖父ちゃんの小遣いを孫に回してくれという話をしないといけないと思うし、そういう色々な世代から見た徳山地区という事で見ると、同じ徳山地区の事でも、あまりエゴというよりは一致団結した感じが出るし、色々な幅の広いというか多角的な話が出来るとは思わないかなと思うので、安心・安全でも子育てでも良いですし、元気な子供を育てるまちという事であれば、そこにお祖父ちゃん層としては、とか、お母さん層としては、とか、曾お祖父ちゃんお祖母ちゃん層としては、という世代の多様さというもの意見として出ると同じ徳山地区の提言でも、あれはあの人たちが勝手に言った事とか、あれはあの世代の人達が勝手に思い描いている像とか、あれは若い者が言いつ放しの無責任な、とかいう所が無くて意見がまとまるのかなと思うのですが。

#### 会長

- ・私の意見としては、先程言われた一体化という問題もありますが、まだ旧徳山市でも中心部と周辺部では違っているし、今一番徳山で寂しいのは、商店街が寂れているという事である。私も住まいは須々万なので、下松鹿野線の完成により買物はほとんど下松に行っている。わずか15分で行ける。
- ・今一番大事なものは、商店街を含めた駅前周辺をどうするかという問題だと思う。私は、駅前整備の問題については、もう少し審議会で審議しても良いと思っているし、今言われたように、百何十億円を使って、果たして良くなるのだろうかとも思っている。それよりは、大きな無料駐車場を作る等しないと、今の時代、人は集まらな

い。そういう事も含めて、駅前整備に関しては、徳山の地域審議会として、後で無駄な金を使ったと悔やむ事の無いよう意見を挙げておきたいと考えている。

- ・全体的、統一的には、広い意味での安心・安全についての意見が多いようである。それぞれの自治会やコミュニティが子供の安全と安心、又、防犯と防災の面で取り組んでいる。しかし、それすらも、市は予算を確保せず、自治会が自治会自身の予算を工面して取り組んでいる状況にある。市が安心・安全を謳うのであれば、予算をキチンと組んで、それぞれの地域にこの位の予算でやってくださいという事をやって欲しい。
- ・又、アンケートにも書いているが、北部地区には消防署が無い。鹿野には消防署があるが、これは高速道路の事故に対応するものとして須々万エリアは入っていない。私は須々万、中須、須金、長穂、大道理までを網羅する北部消防署設置の要望書を出している。徳山から上がってくるのに大体30分もかかってしまい、先日も火災で1名亡くなった事実もある。
- ・そういう経緯もあり、今いただいたご意見は安全・安心の分野に関係する問題であり毎年、計画的に要点をまとめて審議していくような形を作っていきたいし、駅前整備の問題にしても、120億円の費用をかけて整備する以上、何らかの意見は言っておく必要があるのではないかと考えている。

#### 委員

- ・例えば20年後の周南市、特にこの徳山地区というのは、どういうまちになっているのかという事は、とても気になる問題である。例えば今、10人世帯の大家族がそれぞれ世帯を別にして2人世帯になったとする。10人家族であろうが2人世帯であろうが、ガスや水道等生活上必要なものや経費は決まっている。しかし、それ以外の部分で、例えばカーテンや蛍光灯等、必要ない部分にまでお金をかける必要は無くなる。つまり、今からまちを作っていこうとする中で、一番良い時の10人家族の時の状態に戻そうというのか、それとも2人世帯になったから必要な部分のみ見直していこうとするのかが前提となる。徳山のまちの活性化にしても、我々が小さい頃の週末のすれ違えない位、商店街が混雑していたまちをイメージして、過去の一番良い頃に戻ろうとしているのか、それともこれからの行き着く先を見据えて少しでも良い状態に持っていこうとするのかが、非常に気になる所ではある。
- ・過去の良い時期に戻るといえるのであれば、約束の一つひとつをやっつけていかないとはいけなくても、それがいつの約束かという問題になる。又、色々な具体的な名前が出ている計画もあるが、それが全体の計画の中で唯一実施されていない計画となると問題であるが、そうでなくて100ある計画の内、ほとんどが実施されていないという状況であるとすれば、それは全体の中における重要度や必要性という部分で再考する必要があるのではないか。

#### 委員

- ・反論するようだが、合併後、どういうまちにするというのは新市建設計画にキチンと載っている。これをよく読んで理解してその方向で我々は審議していく。今、言われたような事を繰り返すのであれば、すぐ投資効果という話になる。投資効果という事を大前提にすると、周辺地域への投資効果はものすごく薄い。そうすると、合併などは進みはしない。だから各地域に合併しないという所が出てくる。下松などがその例である。

#### 委員

- ・思うに、当時の新市建設計画自体が各市町の計画の積み上げ、寄せ集めである為、その方向性がずれていてもそれを修正する暇も時間も無かったが、今の段階で20年先を見てそこから逆算して今、何をやるべきかを検討すべきではないか。

#### 委員

- ・20年先、30年先がどうなっているかなど、それは誰にもわからない。我々は、

新市建設計画を出されて、それで進めてくださいという答申を出している。今言われたような事は答申を出す際に十分練っている。だから、私が大きく逸脱し、新市建設計画が狂っていると思うのは、地方交付税がカットされて予算が無くなったからというのが一点。もう一点は人口を増やしますという点で全ての基礎を作ったという点。この2点により、新市建設計画を変更したいという事はあるはずである。しかし、地域審議会に何らの意見も求めずに、金がないから仕方が無いという理由で予算をばっさりカットされたのでは、何の為の新市建設計画ですかと言いたくなる。

委員

- ・これをこういう風にしてくださいという話をするのであれば、その新市建設計画が先の事を想定していないところがあるので、逆に先を想定したものを、孫や子供など全ての世代の意見をまとめた包括した意見とすれば良いのではないか。

委員

- ・それは選挙で選ばれた政治家や市議員や市長がやる事であって、学識も決定権もない我々にできるわけもない。

委員

- ・例えば、審議会委員の中にも、私の祖父、祖母と変わらない世代の方がおられるかもしれないし、父、母世代の方もおられるかもしれないし、私には1歳ちょっとになる子供がいるが、周南市になってから産まれた子供なので、大きくなって周南市しか知らない子供になると思う。そのような子供達が20年後、30年後に税金を納め始める時期になる。20年後にそういう事を多角的に想定してみて、人口がどれ位になり、世代の分布がどうなっているか等については、市の方にも試算してもらいたい所もあるし、それで今ある公共施設などが維持できるのか、又、道路などが本当に使われているのかという問題にもなるし、極端な話、周南の皆が中心部に住んでしまったとしたら、鹿野の活性化という問題はもう一度考え直さなければならなくなってしまう。

委員

- ・それは議論の広げ過ぎである。そういう事を考えるのは、市当局であり議会である。我々が法に示された範囲内で審議していくのが当たり前であり正道であって、これを逸脱して、20年後、30年後の将来を予測していく事など、神様でない限り出来ない。

副会長

- ・行政側がこの地域審議会をどのような位置付けをされているかという問題であろうと思う。単なるご意見を伺いましょう程度に設けているのか、或いは今言われた問題を真摯にキチンと受け止める機関として行政側が設置し、我々委員も任命されているのかという問題に関わってくるのだらうと思う。けれども、それをとやかく言っても始まらないので、折角、この場をいただいているのであれば、そうした問題も大切ではないとは言わないが、もっと別の観点から審議する方向で考えられないだろうか。
- ・私は長穂に住んでいるので過疎地域になる。5年前に中学校が合併したが、現在生徒は40名を割っている。10年先を考えると10何億かけた建物に通う生徒がいるのかどうか、又、その維持を誰がするのかという問題が生じる。又、道路の問題にしても、この国道筋は結構、行政からお金が出るので草刈りも出来る。しかし、過疎地域は自分たちでやりなさいと言われる。しかし、周りはお年寄りばかり。たまに若い世代と言っても60歳代の人。60歳代の人が草を刈り、刈った草を腰の曲がったお婆さんがヨチヨチとほうきで掃いている状況が過疎の状況。けれども、上流を絶やすような行政をしていると、下流の地域もいずれは滅びることになってしまう。地域の問題においても、中心街は確かに重要かもしれないけれども、中央

にいる方々は過疎地域にいる人達がどんな状況に住んでいるかをご存じない。先程、鹿野から30分で行けると言われていたが、行ける者は良い。行けない者がいる。買物に行けないお年寄りが沢山いる。わざわざヘルパーさんが須々万までやって来ておばあちゃんに買物をする喜びを与えているデイサービス。中央にいる人達にはそのような心理はわからない。隣の人に「おはようございます」と言う。しかし、北部の農村地帯は隣まで100m、200m離れている。そこまで「おはようございます」と顔を合わせに行く為に30分かかる。山口県の東和地区が高齢者の見本だと言われるけれども、あれは島で集落が固まっている。高齢者にとって一番不便な地域は農村地域の家屋が点在している所である。そういう意味で、この徳山地区は非常に大きくて、便利でもあり不便極まりない。又、高齢者と若者という様々な要素をこの地域は抱えている。けれども、このままで良いのか。向こうにいる者からすると故郷は守りたい、しかし、効率と言った面からすると、金がかかるからどんどんまちへ出て行ってくれという施策になる。その辺りの認識だけでもしていただきたいと思う。だから地域の周辺部は、少しでも便利になって欲しいと願う。便利になるのでも道路が便利になるのか、それとも車を手配してもらえようようなケアしてもらえようような便利さなのか、それとも情報が速く到着するようシステムの便利さなのかである。私の所は橋が架かっているのに情報が全くわからない。私は携帯も出来ないし、この間の台風19号の時も、全く通用しなかった。そういう地域に住んでいるという点を考えていただきたい。

#### 委員

- ・先程、10人住んでいた世帯が2人世帯になったから2人世帯の施策を取りなさいと言われたが、結局、先を見越してやった所で人間の考える事なので、全く当てにならない。今、都会で一番問題になっているのは、団塊の世代の人達が都会へ出て行って高層マンションやアパートに住み、がむしゃらに働いて子供を育て、振り返って見たら夫婦2人だけ。そうすると、購買力も落ちるのでマンション1階にあった商店も全て無くなり、残るは爺さん、婆さんだけという状況になっている。だから、地域審議会としては、そういう話を広げた話題を持ち出すのではなくて、合併の時に掲げた新市建設計画に基づいてこれが粛々と進行しているかどうか、周辺に問題が起こっていないかという事に目を向けて欲しいという事である。
- ・私も周辺地区に住んでいるから、今、副会長さんが言われた事は痛切に理解できる。実は、戸田にはアパートが沢山建っている。過疎地域でありながら住民が増え、人口が増えている。少なくとも今のままでは道路の幅が足りない。いちいち国道へ出なければならぬし、農協関係の問題もある。そういう事を考えたら、今の計画の道路は是非、市道まで繋いで欲しい。それから先の事は、我々が死んだ後の事になるので何とも言えない。とりあえず開通してくださいという事を企画に言いたい。

#### 委員

- ・将来的な事は大事な事であるが、今日出た話の中で、検討項目として次回から検討していく内容は、私が聞いた限りでは3つある。一つ目は「安心・安全」。特にこれは子供についてである。徳山地域の子供の今の問題点は何かという事を皆さんで意見を出し合って、何項目かにまとめる。もう一つは、「地域格差」。これはやはり、地域審議会としてやらなければならない事である。周辺地域のここが問題ですよという点をハッキリさせる。もう一つは、「駅前整備計画」。これは徳山地区の地域審議会として、こうあって欲しいという意見を出すべきだ。というこの3つに絞って問題点を整理するという事にして進めないともまとまらないと思うので、私は検討項目を3点に絞る事を提案する。

委員

- ・駅前整備の件が挙がっているが、先程から、副会長さん始め委員さんも言われている部分というのは、10人世帯であろうが2人世帯であろうが、ライフラインのような必要不可欠な部分についてであると思われる。例えばカーテンや照明のような言わば贅沢な部分。中心市街地が贅沢企画かどうかは別にして、駅前に120億円をつぎ込むよりは他の所に...という点で、徳山地区の中においても、贅沢企画と絶対必要企画というものをハッキリと線引きをするべきではないかと思う。

委員

- ・私は徳山駅前開発については、我々は意見を言うべきでないと思っている。なぜならば、議会で議決して特別委員会を設けてそこで審議してGOサインを出して、しかもパブリックコメントを求めてもう歩み出している。だから、なぜ事前に地域審議会の意見を求めなかったのかという事と、今の段階で120億円は使い過ぎだという話をしてもせせら笑われるだけである。

副会長

- ・安心・安全と地域格差、及び名称は何でも良いがひとまずは駅前問題というこの3つを大きなテーマとして話し合っていくということではいかがでしょうか。今まで出た話はもう3回やっている。もうこの辺で納めた方が良くはないかと思う。

委員

- ・一堂、了承

会長

- ・今日、全ての委員さんに発言していただいたのは、そういう項目を求めようとして発言いただいた訳で、方向性を決定したいと思っていた。そういう意味で、検討項目とその方向性が決定したので、次回からはそれを中心に進行していきたいと思う。まだ、時間はあるので、ご自由に発言いただきたい。

委員

- ・3番目の項目は結局、駅前だけに限定するのか。贅沢企画と必要企画との区別は...

委員

- ・駅前整備が贅沢企画なのではないかという意見も必要ではないか。

委員

- ・私は、駅前問題に関してはそういう意見を出しても仕方ないのではないかと考えている。

委員

- ・ただ、それに関して言えば、まだ駅前広場だけが出ているだけで、駅ビルをどうするかという議論はこれからの段階である。

委員

- ・駅に限定すると既に走り出している部分はあるかと思うが、贅沢企画という形で括っておいてもらえれば、その次に、例えばショッピングモールをどこかにという話が出た時に、そんな贅沢企画をやる位ならばどこかの市道を開通させようという話でも良いし、その位の位置付けで幅広く括っておいて欲しい気がする。

会長

- ・私は徳山地区の地域審議会から駅前問題について、一つも意見が出なかったというのでは駄目だと思う。莫大な金をつぎ込む訳であり、その為に、周辺部は予算が無く、北部消防署を作ってくれと言っても駄目、子供の安心・安全の為に予算を付けてくれと言っても難しいと言われている訳である。

委員

- ・両方が上手くいったら、皆さんの思われている所も、くみ出来るのではないか。海外旅行へ行く位ならば襖を直そうとか、国内旅行にしてサッシを直そうとか、そういう話が駅前に限らず特定のものではなくて、大きな事を考える前に身近な事検

討してみても良いのではないか。

委員

- ・この間、周防大島町で温泉施設が出来て、年寄りがウォーキングしているという記事を目にした。その費用は5億円だったというが、なぜ駅前に120億円も必要なのかとすごく思う。それならば交通の便も良く人を呼び込め、土地もある湯野温泉周辺を整備するとか、買物ツアーのようなバスを定期的に運行するとかできないものかと考えている。
- ・私は子供の教育に関して危機感を持ったので教育の実態を把握しようと、今日から夏休みの児童クラブの先生のアルバイトを始めた。びっくりしたのが、朝8時30分から夕方5時30分までそこに入れて見守っているだけ。その中に、生意気な子供がいたので叱った所、態度を急変し良い子になった。この事で、教育の原点が何かを認識した。子供を甘やかすのはもう止めにしようと言いたい。そしてゲームばかりで外で遊びもしない。こんな状態で良いのかと言いたい。

委員

- ・話は変わるが、駅前周辺開発計画は今、どこまで進んでいるのか。予算はどうなっているのか。

事務局

- ・現在は構想の部分で、予算は通っている。今年度はエレベーター設置の予算が付いている。

委員

- ・確認しておきたいのは、我々が物を言ってもまだ考慮される可能性はあるのか。各委員からのアンケート調査の結果を見ても、かなり具体的な意見が出されているが。

事務局

- ・その時その時でパブリックコメントをかける事になろうから意見を言うことは出来るし、出前トークもあるので、担当課に来てもらって説明してもらおうという事は可能である。
- ・今、言われたような安心・安全や駅前の問題などは、それぞれ担当課があり、周南市としてどういう取組みをしているとか課題があるとかという説明はするので、そういう説明を踏まえて、勉強していただき意見をまとめていただきたい。

委員

- ・新市建設計画に固執するつもりはないが、少なくとも3つの検討課題を軸として、担当課や担当なりにお願いし、話を聞く。当面5年計画位を聞くという形でどうでしょうか。

委員

- ・次回から検討していくのに、今、アバウトな3つのテーマは出ているが、今後の進め方というのはどう考えているのだろうか。

委員

- ・順番を決めたら良いと思う。今日出た話の中で、ここでしか出てこない具体的な問題というのは地域格差の問題である。それについては担当課に聞くよりもこの会の中で箇条書きにして出して、担当課に教えてあげるという気持ちで出していく。子供の方も、今は遊び場がないので家でゲームするしかない、又、危ないしという身近な市民の視点から子供の問題は議論できる。その議論が終わり、まとまったら次は、中心市街地の今の状況を説明していただいて、最後にまとめる。最初のスタートは、今ある皆さんの中の経験や知識から提起する問題ではないかと思う。市役所の方に、ご存じない地域の問題を教えて差し上げるという2段階に分けた方が良いのかなと感じる。

委員

- ・そうしましょう。皆が身の回りの困った事を調べておく。

委 員

- ・私は子供の問題には強くない。まず、行政がこれらの問題に対して、どういう姿勢で今、何をしようとしているのかという情報は入れてもらわないと、発想が広がってこない。私の家ではこうですよという話になると、辛い部分になってしまう。

副会長

- ・毎回3つの項目を審議していたのではまとまりがつかないと思うので、とにかく、次に開く時は、子供の関係の項目だけを話していく。次は、それに関係する地域格差の問題も出て来るだろうし、徳山駅前問題も関連していくように思うので、その中で思いを話す方のふびんな面があればそれがどうなっているのかとか、先程言われたような新市建設計画がどういう状況下での計画なのかという事が大きな件だろうと思う。

委 員

- ・開催の回数については、今まで通りであれば、これから2回という感じでは来年になってしまう。

副会長

- ・専門と言う訳ではないが、この人数の中で関心のある問題について、子供、地域格差、駅前整備という3つのグループに分けて検討していく方が良いのではないかと思う。そうしないと同じ事の繰り返しになってしまう恐れがある。

委 員

- ・そのグループ分けはいつ決定するのか。

会 長

- ・今、3つのテーマで意見をまとめると決まったが、他の地区は意見をまとめる為の勉強会を開催してやっている。予算の関係もあり、勉強会となると無報酬という事になるが、勉強会で意見を出し合いまとめる作業をしている。そういう形で理解していただきたい。そして、それまでに以前ご意見をいただいたような形で、再度、意見を先に出してもらい、それを勉強会で審議していくという形で進めていきたいと思うが、いかがでしょうか。

委 員

- ・アンケートを集めて、それを集計したものをもう一度送ってもらって、もう一度検討するのであれば、時間も節約できるのではないか。

事務局

- ・委員の皆さんの意見をお伺いするのが8月の中旬位で、それをまとめて再度お送りして、8月下旬頃、開催したいと思っているが、それ位でどうでしょうか。

会 長

- ・今、事務局の言われたような流れでよろしいでしょうか。異議が無ければ、それで進めていきたいと思う。今日は、良いまとめが出来ました。次回から、より具体的に話し合っていきたいと思います。本日はお疲れ様でございました。

## 4 閉 会